令和5年度 川西市立桜が丘小学校 学校教育目標

学校教育目標

一人ひとりを生かし、その可能性を最大限に伸ばし、心豊かな子どもを育てる

めざす児童像

家庭

いきいきとした たくましい 桜小の子ども
明るく・元気で・仲良く・考えて・やりとげる

地域

めざす学校像

就学前

一人ひとりの個性を尊重し、かかわりを通してお互いの
違いを認め合い、学び合い、高め合う学校づくり

中学校

子どもの可能性を最大限に伸ばす学習指導の推進

- きめ細かな指導で、主体的に取り組むことができる授業の場づくり
- わかる授業の創造と、粘り強い継続した指導
- 教師の力量を向上させ新たな課題を克服するための研修の充実
- チームが連携しながら専門性を生かして取り組む特別支援教育の推進

一人ひとりを大切にし、人権と学びが保障された学校づくり

- 人権教育をとおして、子どもたちが自分の良さや友だちのよさを認めあえる集団づくり・学級づくり
- 基礎学力の定着と基本的生活習慣の取得を基盤とした学習指導、生徒指導の推進
- こども委員会を軸として学校全職員で関わるみんなの学校の構築
- 教職員が一体となって取り組む学びの協働体の醸成

心豊かな子どもを育てるための体験活動の充実

- 子どもが主体的に課題意識を持って取り組む体験活動の実施
- 異年齢間のこころのふれあいを大切にした人間関係づくりや集団づくりの推進
- 体験活動をとおした自立心の育成
- 体験したことを伝えるための情報の処理能力の向上と、伝えるための表現力の育成

目標達成のための具体的方策・努力事項

- 1 たがいの違いを認め合い、自尊感情が育まれる人権総合学習を推進する
(校内研修を中心とした実践的研修の推進)
- 2 体験活動をとおして、心のふれあいや自立心を養い、あたたかい人間関係を築く
(6年間の系統性を踏まえた活動プログラムの検証)
- 3 個に応じた適切な指導に努め、聞く・読む・書く・計算する、の基礎・基本の力を身につけさせる
(人権基礎学力の定着)
- 4 子どもに寄り添い、子ども理解に努める生徒指導を充実する
(子ども部会、生徒指導担当を中心とする、組織的校内指導体制の構築)
- 5 保護者や地域、中学校とともに、基本的生活習慣や学習習慣を身につけさせる
(家庭・地域及び中学校、関係校園との連携)
- 6 教育の質を向上させるために、学校における働き方改革を推進する
(心身ともに健康で働き続けられる環境づくり、本来業務に集中できる時間の確保)

めざす教職員像

3つの“意”を大切にする教職員

- ①熱意(情熱・愛情) ②誠意(真心・信頼) ③創意(工夫・努力・向上心)

3つの“力”を大切にする教職員

- ①組織力(チームワーク) ②行動力(フットワーク) ③連携力(ネットワーク)